



## 9月1日は「防災の日」

台風や地震等の

災害についての認識を深め、それらの災害に対処する心構えや防災に対して見つめ直す機会

を設けるために、昭和35年に内閣の閣議了解により制定されました。

また、昭和57年からは、9月1日の「防災の日」を含む1週間が「防災週間」と定められています。

9月1日という日付は、大正12年9月1日に発生し、10万人以上の死者・行方不明者を出した「関東大震災」に由来しています。

## 「自分の生命は自らが守る」

平成23年3月11日、日本観測史上最大となるM9.0の東北地方太平洋沖地震が発生し、未曾有の大災害をもたらしました。この地方でも近い将来、東海地震、東南海地震の発生が予想されています。地震に備えるために、「自



らの生命は自らが守る」という「自助」や、まちぐるみで「自分たちのまちは自分たちで守る」という「共助」の意識を向上させることが、より重要になってきています。防災訓練についても工夫をして無関心層を取り込むことが必要になっていると言えます。家庭や地域ぐるみで大規模災害に備えましょう。

## 丹羽消防署で上級救命講習会を開催（8時間）

成人から乳児に対する心肺蘇生法、ケガの手当や安全に傷病者を運ぶ方法などをお教えます。

普通救命講習会を受けた方も、まだ受けていない方も受講できます。

日時 9月21日(土)

午前9時から午後5時45分（昼休憩45分を含む）

場所 丹羽消防署 本署3階

対象 町内にお住まい、またはお勤めの方

定員 12名

受講料 無料

※昼食は各自で準備してください。

申込みおよび問合せ先

丹羽消防署本署 ☎95-5151

大口出張所 ☎95-0119

# 9月10日(火)は下水道の日です

「下水道の日」は、昭和36年、著しく遅れている日本の下水道の全国的な普及（当時の普及率6%）を図る、必要があることから、「全国下水道促進デー」として始められました。

その後平成13年から、より親しみのある名称として「下水道の日」に変更されました。

現在、大口町の下水道普及率は、87.2%です。

下水道普及率は、その地区に住んでいる人の内、どれくらいの人が下水道を利用できる環境になったかを示す指標です。

## 下水道への接続を

下水道を利用できる区域内で、まだ接続されていない方は、1日も早い接続をお願いします。お住まいのところが、下水道を利用できる区域かどうかからない方は、役場建設課にお問い合わせください。

## 正しく使いまじょう

下水道はどんなものでも流せるわけではありません。下水処理場でおこなっている処理方法は、自然界にいる微生物を利用した生物処理です。この微生物は、たくさんの油や化学薬品が流れ込むと死んでしまいます。また、油は下水道管の中で固まり、下水道管を詰まらせてしまうことがありますので、調理後の揚げ油などは絶対流さないでください。

## 下水道を知ろう！

下水道について、お子さんから楽しみながら知ることができる、下水道科学館が稲沢市（愛知県下水道科学館、稲沢市平和町須ヶ谷長田295-3）と、名古屋市（名古屋市上下水道局下水道科学館、名古屋市北区名城一丁目3番3号）にあります。どちらも入場無料ですので、ぜひお出かけください。

問合せ先 建設課 ☎95-1626